

# ASM24POC

保証書付

屋外(内)用

暗視撮影

バリフォーカルレンズ

ワンケーブルカメラ



- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」は、いつでも見ることができる場所に保管してください。

# 目次・特長

## 目次

特長	2
安全上のご注意	3
使用上のご注意	5
セット内容	5
各部の名称	6
設置例	8
カメラ機能のメニュー設定	10
メニュー画面	10
アイリス	10
露光	11
逆光補正	13
デイ&ナイト	16
カラー	18
デジタルノイズ除去	19
イメージ	19
モーション	22
システム	24
終了	26
寸法図	27
修理に関して	27
規格表	27
保証書	28

## 特長

- 別売の電源ユニットを使用して、同軸ケーブル1本で映像と電源を伝送するため、電源が取れない場所への設置が可能(S5CFB/最大延長300m)
- 2.1メガピクセルCMOSセンサー搭載のフルハイビジョンAHDドームカメラ
- 2.8～12mmのバリフォーカルレンズ搭載で広範囲の撮影が可能
- 赤外線照射機能で夜間撮影も可能(最長照射距離約20m/赤外線照射時は白黒撮影)  
・暗所で良好に撮影が可能な距離は、約半分です。
- 防じん・防水構造(IP66)のため、屋外への設置が可能
- 天井へ設置するドーム型タイプ
- WDR(ワイドダイナミックレンジ)機能により明度の差が大きい撮影場所でも鮮明で自然な映像の撮影が可能
- 2DNR&3DNR(デジタルノイズリダクション)機能により低照度撮影時のノイズを低減
- カメラタイトル表示機能により、画面上に最大8文字のカメラタイトルの表示が可能
- プライバシーマスク機能により、画面上の任意の領域を最大16か所まで目隠しすることが可能
- ミラー機能により、画像を上下左右に反転することが可能
- シャープネス機能により、映像をくっきりと表示することが可能(0～10でレベル調整)
- デイ&ナイト機能により、夜間は白黒に切換えることが可能
- ホワイトバランス機能
- ブライトネス機能
- メニュー表示日本語対応
- 設置時の画角調整に便利なCVBS(アナログ映像信号)出力端子あり
- 各メニュー機能の設定は、モニター画面上にメニューが表示され、カメラのOSD操作スイッチで操作、またはUTC機能(同軸制御)対応のレコーダーから遠隔操作が可能

# 安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

## 絵表示について

この「取扱説明書」には、製品を安全に正しくご使用いただき、ご使用になる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。



**警告**

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例



禁止の行為を示しています。



行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。



**警告**

- 本機や付属品を包装しているポリ袋は、お子様の手の届く場所に放置しないでください。飲込むと窒息し、死亡の原因となります。
- 本機のケーブルや同軸ケーブルを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。また、重いものを載せたり、物や扉などで挟んだり、熱器具に近付けたりしないでください。ケーブルが破損して、火災・感電の原因となります。ケーブルが傷んだ場合（芯線の露出や断線など）、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 本機を分解したり、改造したりしないでください。また、内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご連絡ください。
- 濡れた手で、同軸ケーブルを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 雷が鳴出したら、同軸ケーブルには触れないでください。感電の原因となります。
- 本機にホースなどで直接水をかけないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源を入れたまま配線工事をしないでください。感電の原因となります。
- 雷のときは配線工事をしないでください。火災・感電の原因となります。

## 警告

- 万一、本機を落としたり、破損したりした場合、同軸ケーブルを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、煙が出ている、変な臭いや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに同軸ケーブルを抜き、煙や臭いがなくなるのを確認して販売店にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。
- 本機を壁面に取付けて使用するときは、堅固・確実に取付けてください。不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁[石こうボード、ALC（軽量気泡コンクリート）、コンクリートブロック、ベニヤ板など]には取付けしないでください。落下により、けがの原因となります。
- 配線工事は安全・確実に行ってください。誤った配線工事は、火災・感電・事故の原因となります。
- ケーブルの接続時は、防水ボックス、防水ゴム、防水キャップ、自己融着テープで防水処理を行ってください。火災・感電の原因となります。
- 本機を壁面や天井に設置するときは、配線や配管を傷つけないように取付けてください。配線や配管などを傷つけると、火災・感電の原因となります。

## 注意

- 本機を湿気やほこりの多い場所、調理台や加湿器の近くなど、油煙や湯気などが当たるような場所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
  - 本機を温室やサンルームなどの、高温で湿度の高い所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
  - 土中埋設配線する場合は、土中での接続はしないでください。絶縁劣化により、感電の原因となることがあります。
- 土中埋設する場合、ケーブルや配線材などは、電線管などを使用して防水処理をしてください。感電の原因となることがあります。

# 使用上のご注意・セット内容

## 使用上のご注意

- 本機を使用できるのは、日本国内のみです。海外では使用できません。
- 本機を分解・改造しないでください。分解・改造した場合は、保証対象外となります。故障した場合、販売店に修理を依頼してください。
- 接続する電源ユニットは、必ず当社製品 電源ユニットASM4PUPOCを使用してください。他メーカーの機器を使用した場合、保証対象外となります。
- 本機は、防犯を保証する機器ではありません。ご使用中に、人命・財産などに損害が生じて、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機は、被写体のプライバシーや肖像権に配慮して使用してください。撮影された画像が、公になったり、使用されたりして、被写体のプライバシーや肖像権の侵害、画像の使用による損害が生じて、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 停電などの外部要因により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機の故障、誤作動、接続機器の不具合などの原因により、外部録画機器などへ正常に録画できなかった場合の内容の補償、録画した内容の損失および直接・間接の損害に対して、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機に磁石など磁気を持っているものを近づけないでください。磁気の影響を受けて作動が不安定になることがあります。
- エアコンの室外機の風が直接当たる場所に設置しないでください。故障・誤作動の原因となります。
- 本機は完全防水構造ではありません。軒下など、できるだけ雨、風や直射日光が直接あたらないところに設置してください。
- 高温・高湿・密閉状態となる場所で使用しないでください。故障の原因となります。
- 周囲温度 $\ominus 10^{\circ}\text{C}$ 以下で使用した場合、レンズ部がくもったり、霜が付いたりすることがあります。
- カメラのレンズには手で触れないでください。故障の原因となります。汚れた場合は、乾いた柔らかい布で軽く拭取ってください。
- 本体の清掃には科学薬品や洗剤を使用せず、硬く絞った雑巾などを使用してください。
- 高電圧を発生している装置(エアコンの室外機、モーター、コンプレッサーなど)の近くには設置しないでください。映像の乱れなどの影響を及ぼす場合があります。
- 換気扇などのモーター類を搭載した機器の電源とは別系統で配線してください。電源ノイズの影響を受け、録画や画面表示が正常作動しない可能性があります。
- 直射日光やハロゲン光などの高輝度の被写体を長時間映さないでください。撮像素子が破損する原因になります。

## セット内容

ご使用の前にセット内容をご確認ください。



カメラ



ゴムベース



防犯ステッカー



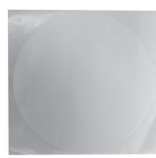
取付ねじ+防水パッキン



ヘクスローブレンチ



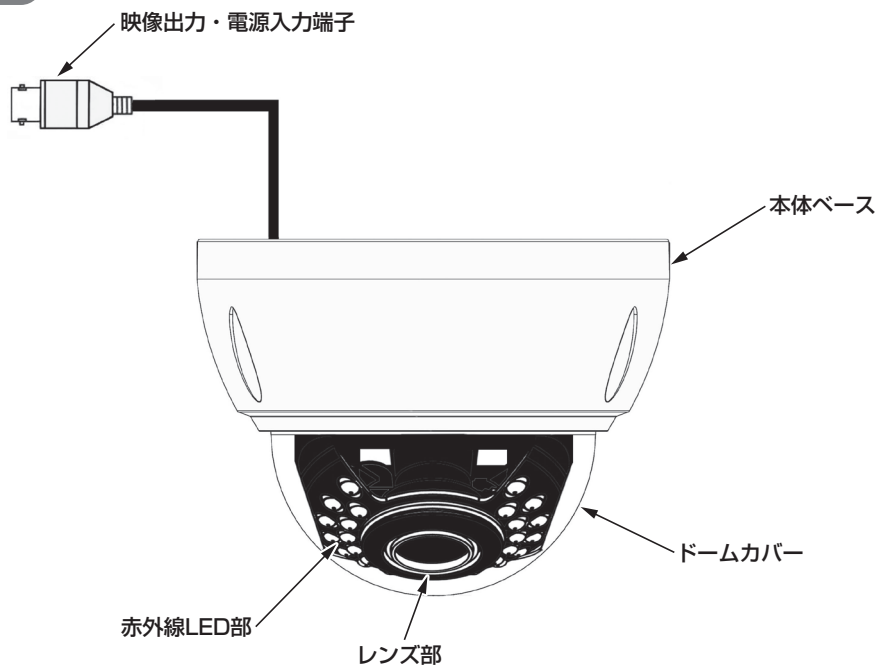
CVBSハーネス



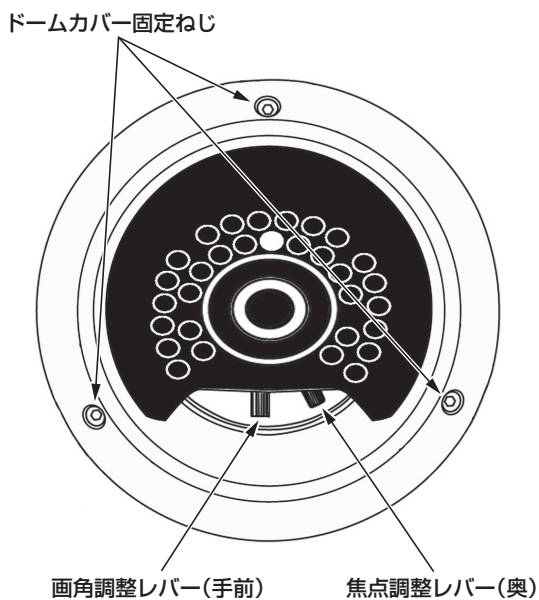
位置決め用紙

# 各部の名称

## 側面



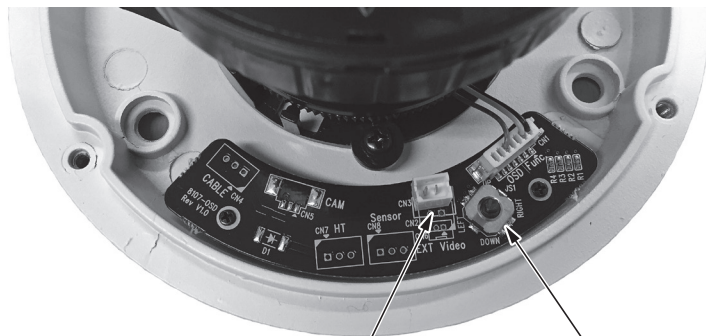
## レンズ面



# 各部の名称 つづき

## 《操作パネルの説明》

ドームカバーを取外すと、本体ベース内側に操作パネルがあります。



映像確認端子

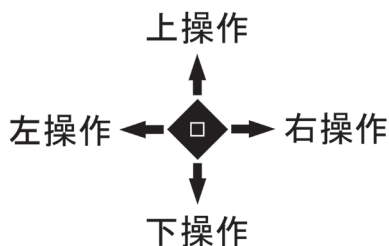
OSD操作スイッチ

### 映像確認端子

設置後にカメラの角度・焦点・画角の調整やメニュー設定をする場合の映像確認用端子です。  
(アナログCVBS信号)  
付属のCVBSハーネスを接続すると映像が出力されます。

### OSD操作スイッチ

メニュー画面、および各設定画面の操作を行います。

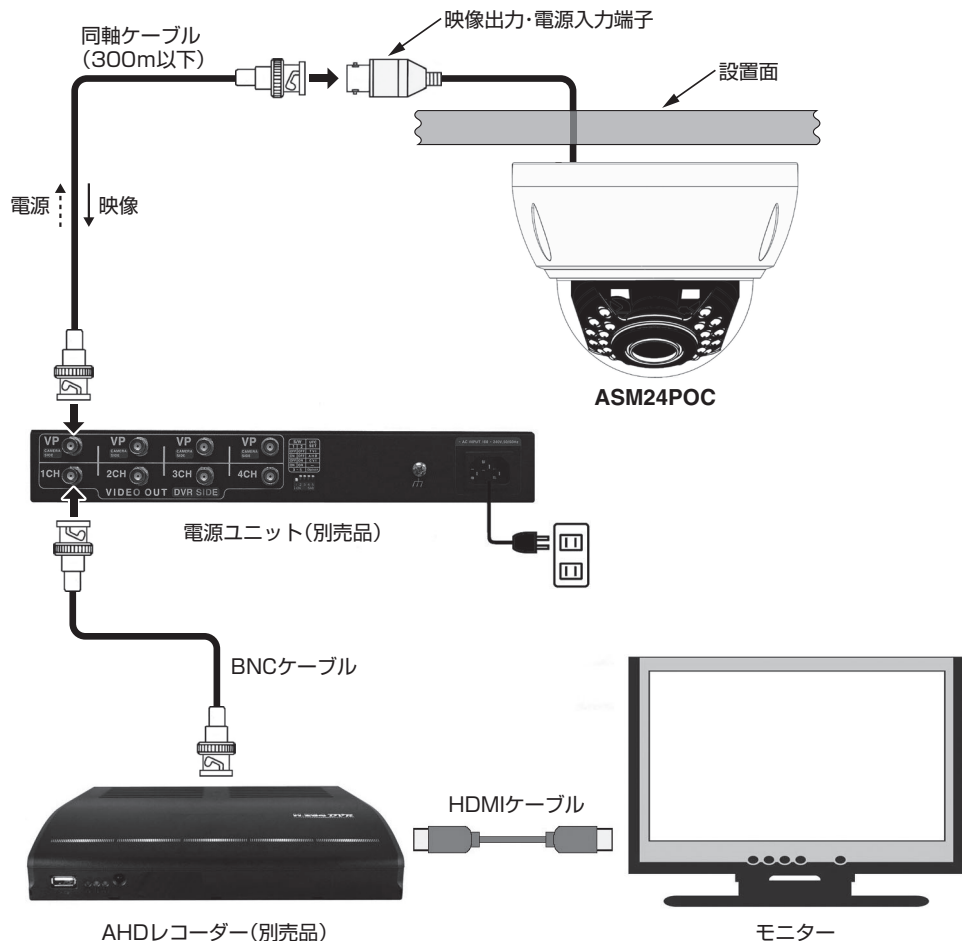


上操作	項目(紫色※)を上へ移動
下操作	項目(紫色※)を下へ移動
左操作	項目(紫色※)を左へ移動 設定・数値の変更
右操作	項目(紫色※)を右へ移動 設定・数値の変更
押す	モニターの画面上にメニュー画面を表示 ↓の位置で画面表示を切換え 項目の決定

※「デイ&ナイト」の「B&W(白黒)」(p.17)設定時は、黒色で表示されます。

# 設置例

- ①映像出力・電源入力端子と電源ユニットのワンケーブルカメラ接続端子を同軸ケーブルで接続します。同軸ケーブルは、両端BNC端子のS5CFB相当のものをご使用ください。また、同軸ケーブルの長さは、300m以下としてください。
- ②電源ユニットとAHDレコーダーを接続します。



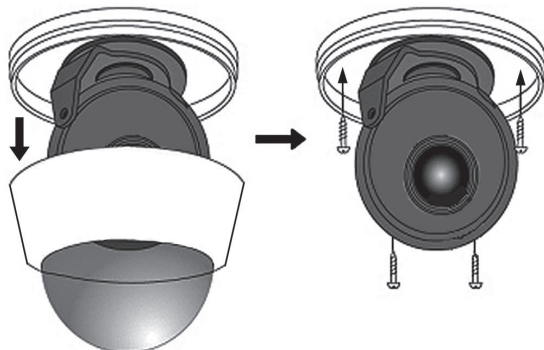
## ご注意

- 本機を使用する場合は、必ず対応したAHDレコーダーとの接続が必要です。
- 映像出力・電源入力端子の接続部は防水構造ではありません。接続部が屋外に出る場合は、必ず防水処理を行なってください。
- 雨の降りかかる屋外に設置する場合は、本体ベースの付根に防水処理を行なってください。
- 赤外線照射距離は最長で約20mですが、暗所で良好に撮影可能な距離は、約半分です。



# 設置例 つづき

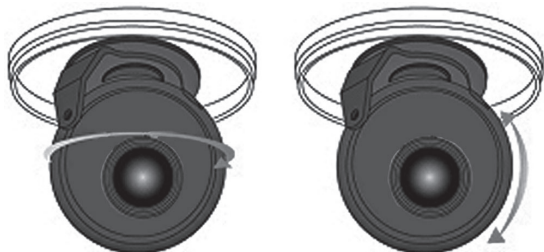
- ③ ドームカバー固定ねじを、付属のヘクスローブレンチを使用して3か所緩め、ドームカバーを取外し、付属の取付ねじ(4本)で本体ベースを設置面へ固定します。



## ご注意

屋外に設置する場合、取付ねじに付属の防水パッキンを取付け、4か所固定後、取付ねじの上からコーキング剤などで隙間を埋めて防水処理をしてください。コーキング処理をしないと、隙間から浸水する可能性があります。また、本体ベースの設置面側に付属のゴムベースを取付けてください。

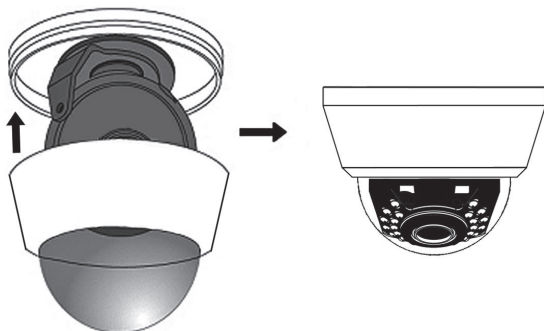
- ④ 映像を確認しながら、カメラの撮影角度を調整します。  
(3軸構造なので上下左右が自由に調整可能)



## ご注意

接続されているケーブルに、負荷がかからない程度に回して、調整してください。故障の原因となることがあります。

- ⑤ 画角調整レバーと焦点調整レバーを左に回して緩め、画角と焦点を調整します。  
⑥ 全ての調整が終わったら、ドームカバーを元の状態へ戻します。



# カメラ機能のメニュー設定

## メニュー画面・アイリス

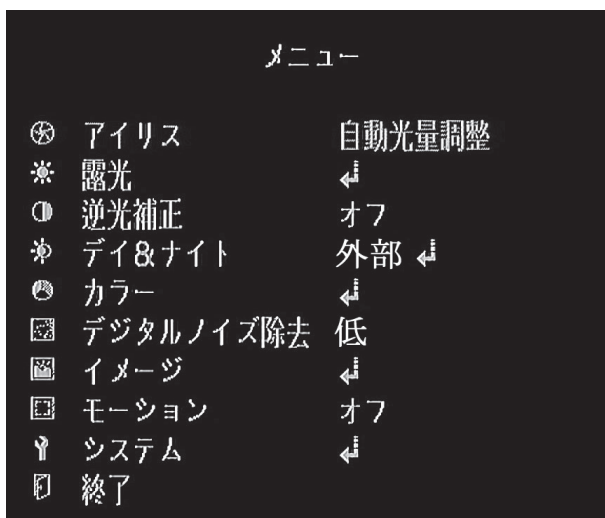
ご使用前にモニターに表示されるメニュー画面で各機能の設定をする必要があります。正確な設定を行うことにより目的の撮影が可能となります。

カメラ機能の設定は、OSD操作スイッチ(p.7)、またはUTC機能に対応しているAHDレコーダーから遠隔操作を行なってください。

### メニュー画面

OSD操作スイッチ(p.7)を押すと、メインメニューが表示されます。設定できる項目が、紫色※の文字で表示されます。

※「デイ&ナイト」の「B&W(白黒)」(p.17)設定時は、黒色で表示されます。



### アイリス

アイリスメニューでは、レンズに入る入射光量を調整します。

メニュー画面(上記)で、OSD操作スイッチ(p.7)の左右操作で、「自動光量調整」、「電子光量調整」より選択します。

●通常は、「自動光量調整」に設定して使用します。

#### 自動光量調整(ALC)

オートアイリスレンズが入射光量を自動的に調整します。

#### 電子光量調整(ELC)

環境に応じてシャッタースピードが自動的に変化します。

# カメラ機能のメニュー設定 露光

## 露光

露光メニューでは、明るさやシャッタースピードを調整します。

メニュー画面(p.10)で「露光」へ移動して、OSD操作スイッチ(p.7)を押すと、露光設定画面が表示されます。



### 明るさ

画面の明るさの設定値を「0」～「20」より設定します。

「明るさ」へ移動して、OSD操作スイッチの左右操作で設定します。

### シャッタースピード

被写体に合わせたシャッタースピードの設定をします。

「シャッタースピード」へ移動して、OSD操作スイッチの左右操作で、「オート」、「マニュアル」、「FLICKER」より選択します。

【オート】自動で絞り調整を行います。

OSD操作スイッチを押すと、シャッタースピード設定画面が表示されます。



OUTDOOR : 高輝度環境時に設定(屋外/自動光量調整設定時)

INDOOR : シャッタースピードが固定(屋内/自動光量調整設定時)

通常 : 電子光量調整設定時の標準設定(電子光量調整設定時)

ぼやけ補正 : 低光量時に動いている被写体のブレを軽減

設定が終わったら、「戻る」へ移動し、OSD操作スイッチを押します。  
(前の画面へ戻ります)

# カメラ機能のメニュー設定 露光 つづき

- 【マニュアル】 シャッタースピードを手動で設定します。(固定)  
OSD操作スイッチを押すと、シャッタースピード設定画面が表示されます。



1/30、1/60、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000、  
1/4000、1/8000、1/15000、1/30000より選択します。

設定が終わったら、「戻る」へ移動し、OSD操作スイッチを押します。  
(前の画面へ戻ります)

- 【FLICKER】 周波数との不一致で発生する映像のちらつきを抑える設定です。  
●アイリスの設定(p.10)を必ず「自動光量調整」に設定してください。

## デジタルスローシャッター

低照度撮影時の自動電子感度アップ機能の感度レベルを設定します。  
暗所の撮影または低コントラストの場合に、暗さのレベルを自動的に感知して感度を増幅し、明るく鮮明な画像を撮影します。

「デジタルスローシャッター」へ移動して、OSD操作スイッチの左右操作で選択します。  
×2、×4、×8、×16、×32倍から設定が可能です。  
高い数値ほど暗所に適していますが、シャッタースピードは低下します。

## オートゲインコントロール(AGC)

イメージセンサーへの入射光量によって信号レベルを制御して出力信号のレベルを一定にする機能です。

夜間の撮影に対して有効な機能です。ただし、ノイズは増幅されます。

「オートゲインコントロール」へ移動して、OSD操作スイッチの左右操作で「0」～「10」より設定します。

全ての設定が終わったら、「戻る」へ移動し、OSD操作スイッチを押します。  
(メニュー画面へ戻ります)

# カメラ機能のメニュー設定 逆光補正

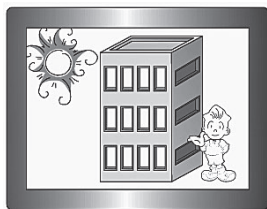
## 逆光補正

逆光補正メニューでは、逆光下で撮影する際の露出補正を行い、そのままでは暗く写ってしまう被写体を適切な露出で撮影する機能を設定します。

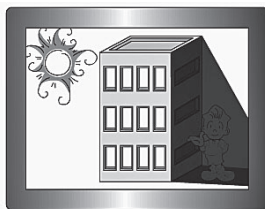
メニュー画面(p.10)で「逆光補正」へ移動して、OSD操作スイッチ(p.7)の左右操作で設定します。

### WDR (ワイドダイナミックレンジ機能)

明度の差が大きい場所でも、暗い部分と明るい部分の両方を鮮明に撮影することができます。屋内と屋外や、明るい場所と暗い場所を同時に撮影する場合などに効果的です。



WDR オン



WDR オフ

OSD操作スイッチの左右操作で「WDR」を選択し、OSD操作スイッチを押すと、WDR設定画面が表示されます。

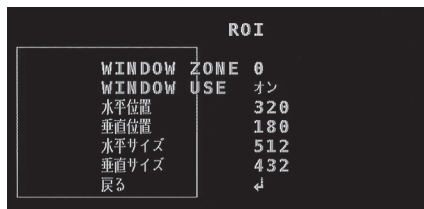
OSD操作スイッチの上下操作で各項目へ移動し、左右操作で設定します。



【モード】 通常：画面全体にWDR機能が有効になります。

ROI：指定した範囲内にWDR機能が有効になります。

「ROI」を選択し、OSD操作スイッチを押すと、ROI設定画面が表示されます。



WINDOW ZONE：設定する範囲を「0」～「3」より選択します。  
WINDOW USE：WINDOW ZONEの有効/無効を設定します。  
水平位置：WINDOW ZONEの水平位置を設定します。  
垂直位置：WINDOW ZONEの垂直位置を設定します。  
水平サイズ：WINDOW ZONEの水平サイズ(右側)を設定します。  
垂直サイズ：WINDOW ZONEの垂直サイズ(下側)を設定します。

●WINDOW ZONEのサイズ設定は、左上が基準となります。

設定が終わったら、「戻る」へ移動し、OSD操作スイッチを押します。(前の画面へ戻ります)

【レベル】 WDRの補正レベルを「低」、「中」、「高」より設定します。

設定が終わったら、「戻る」へ移動し、OSD操作スイッチを押します。(メニュー画面へ戻ります)

# カメラ機能のメニュー設定 逆光補正 つづき

## バックライト補正

被写体が暗く映ってしまう現象を補正し、鮮明度を改善します。

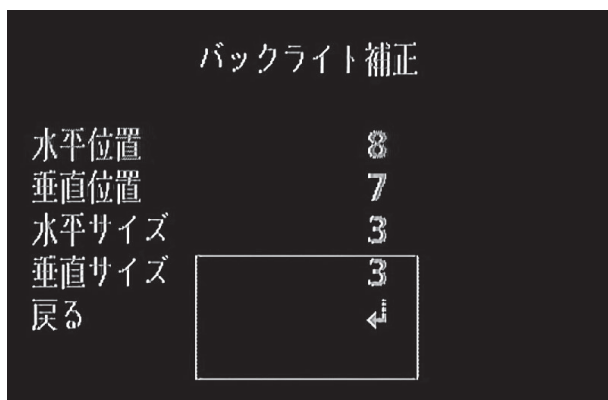


BLCオン



BLCオフ

OSD操作スイッチの左右操作で「バックライト補正」を選択し、OSD操作スイッチを押すと、バックライト補正設定画面が表示されます。補正する範囲を設定します。OSD操作スイッチの上下操作で各項目へ移動し、左右操作で設定します。



【水平位置】 補正範囲の水平位置を設定します。

【垂直位置】 補正範囲の垂直位置を設定します。

【水平サイズ】 補正範囲の水平サイズ(右側)を設定します。

【垂直サイズ】 補正範囲の垂直サイズ(下側)を設定します。

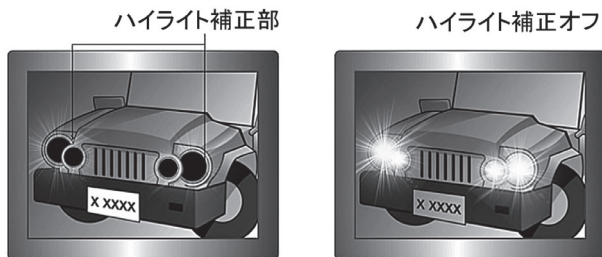
●補正範囲のサイズ設定は、左上が基準となります。

設定が終わったら、「戻る」へ移動し、OSD操作スイッチを押します。(メニュー画面へ戻ります)

# カメラ機能のメニュー設定 逆光補正 つづき

## ハイライト補正

強い光を放つ部分をマスクする(隠す)ことで他の部分への反射を軽減します。



OSD操作スイッチの左右操作で「ハイライト補正」を選択し、OSD操作スイッチを押すと、ハイライト補正設定画面が表示されます。  
OSD操作スイッチの上下操作で各項目へ移動し、左右操作で設定します。



【レベル】 マスクレベルを「0(強)」～「20(弱)」より設定します。

【カラー】 マスクの色を8種類より選択します。

設定が終わったら、「戻る」へ移動し、OSD操作スイッチを押します。(メニュー画面へ戻ります)

# カメラ機能のメニュー設定 デイ&ナイト

## デイ&ナイト

デイ&ナイトメニューでは、撮影環境が低照度状態(夜間など)になった場合のカラー撮影と白黒撮影の設定をします。

低照度状態では、白黒で撮影した方が鮮明な映像が撮影できます。

メニュー画面(p.10)で「デイ&ナイト」へ移動して、OSD操作スイッチ(p.7)の左右操作で、「外部」、「オート」、「カラー」、「B&W」より設定します。

### 外部

赤外線照射に連動して、カラー撮影モード(昼)から白黒撮影モード(夜)へ自動で切り替わります。本機は、赤外線照射機能を搭載していますから、基本的には、「外部」に設定して使用します。

「外部」を選択し、OSD操作スイッチを押すと、デイ&ナイト設定画面が表示されます。OSD操作スイッチの上下操作で各項目へ移動し、左右操作で設定します。



* デイ&ナイト		
切替感度	5	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■
EXTERN SW	高	
D>N THRES	13	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■
N>D THRES	7	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■
切替待機時間	低	
戻る	←	

**[切替感度]** ナイトモード時の光量感度を「0(強)」～「20(弱)」より設定します。

**[EXTERN SW]** 明るさ(CDS)センサーの感度を「高」、「低」より選択します。

●通常は「高」に設定してください。

**[D>N THRES]** 昼モードから夜モードに切り替わる時のAGC値を「0(強)」～「20(弱)」より設定します。

**[N>D THRES]** 夜モードから昼モードに切り替わる時のAGC値を「0(強)」～「20(弱)」より設定します。

**[切替待機時間]** モードの切り替わるタイミングを「低(早)」、「中」、「高(遅)」より選択します。

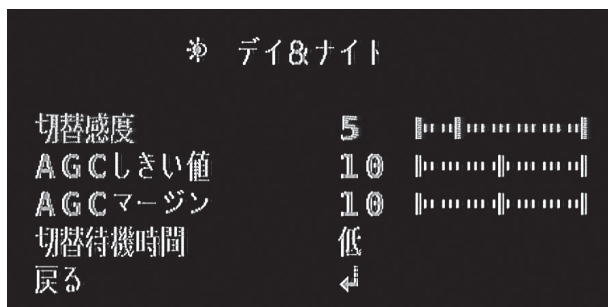
設定が終わったら、「戻る」へ移動し、OSD操作スイッチを押します。(メニュー画面へ戻ります)



# カメラ機能のメニュー設定 デイ&ナイト つづき

## オート

周囲の照度に応じて、カラー撮影モード(昼)から白黒撮影モード(夜)へ自動で切り替わります。「オート」を選択し、OSD操作スイッチを押すと、デイ&ナイト設定画面が表示されます。OSD操作スイッチの上下操作で各項目へ移動し、左右操作で設定します。



【切替感度】 ナイトモード時の光量感度を「0(強)」～「20(弱)」より設定します。

【AGCしきい値】 モードが切替わる時のAGC値を「0(低)」～「20(高)」より設定します。

【AGCマージン】 モードが切替わる時のAGCレベルマージンを「0(狭)」～「20(広)」より設定します。

【切替待機時間】 モードの切替わるタイミングを「低(早)」、「中」、「高(遅)」より選択します。

設定が終わったら、「戻る」へ移動し、OSD操作スイッチを押します。(メニュー画面へ戻ります)

## カラー

明るさに関係なく、カラー撮影モードに固定します。

## B&W (白黒)

明るさに関係なく白黒撮影モードに固定します。

「B&W」を選択し、OSD操作スイッチを押すと、デイ&ナイト設定画面が表示されます。OSD操作スイッチの上下操作で項目へ移動し、左右操作で設定します。



【切替感度】 ナイトモード時の光量感度を「0(強)」～「20(弱)」より設定します。

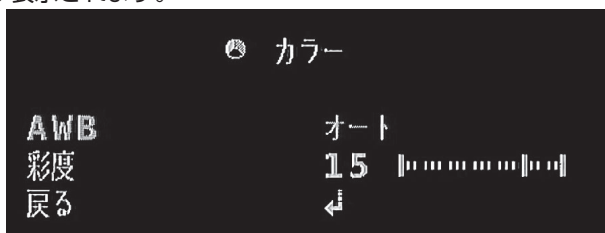
設定が終わったら、「戻る」へ移動し、OSD操作スイッチを押します。(メニュー画面へ戻ります)

# カメラ機能のメニュー設定 カラー

## カラー

カラーメニューでは、ホワイトバランスと彩度を設定します。

メニュー画面(p.10)で「カラー」へ移動して、OSD操作スイッチ(p.7)を押すと、カラー設定画面が表示されます。



### AWB

ホワイトバランスを設定します。

ホワイトバランスは、白い被写体を撮像した時に、白く再現するよう調整する機能です。

「AWB」へ移動して、OSD操作スイッチの左右操作で設定します。

- |          |   |
|----------|---|
| 【オート】    | ホワイトバランスを自動調整します。   |
| 【オート2】   | ホワイトバランスを自動調整します。(暖色系)  |
| 【ワンプッシュ】 | 特定の被写体に合わせてホワイトバランスを調整します。<br>(撮影中にOSD操作スイッチを長押しすると自動的に調整されます)<br>●被写体が変わった場合は、再度ホワイトバランスを調整してください。 |
| 【マニュアル】  | ホワイトバランスを手動で調整します。<br>「マニュアル」を選択し、OSDスイッチを押すと、AWB設定画面が表示されます。                                       |



C-TEMP：色温度を「3000K」、「5000K」、「8000K」より設定します。

赤レベル：赤系統の色相レベルを0～20より設定します。

青レベル：青系統の色相レベルを0～20より設定します。

設定が終わったら、「戻る」へ移動し、OSD操作スイッチを押します。  
(前の画面へ戻ります)

### 彩度

色の鮮やかさを「0」～「20」より設定します。

「彩度」へ移動して、OSD操作スイッチの左右操作で設定します。

全ての設定が終わったら、「戻る」へ移動し、OSD操作スイッチを押します。(メニュー画面へ戻ります)

# カメラ機能のメニュー設定 デジタルノイズ除去・イメージ

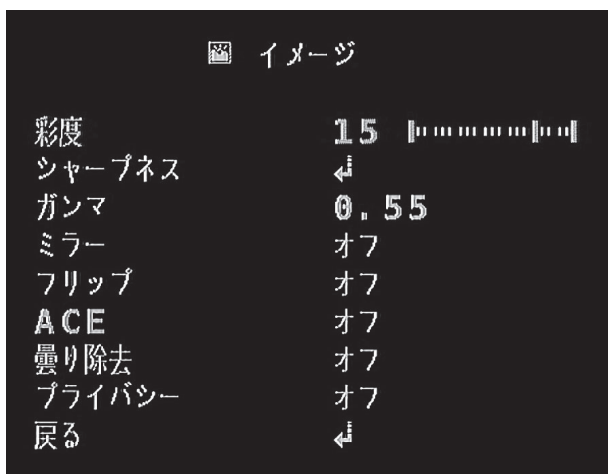
## デジタルノイズ除去

デジタルノイズ除去メニューでは、映像に現れたノイズをデジタル処理により低減します。メニュー画面(p.10)で「デジタルノイズ除去」へ移動して、OSD操作スイッチ(p.7)の左右操作で、「低」、「中」、「高」より設定します。

## イメージ

イメージメニューでは、彩度、シャープネス、ガンマ値、画像反転、コントラスト、曇り除去、プライバシーマスクの設定をします。

メニュー画面(p.10)で「イメージ」へ移動して、OSD操作スイッチ(p.7)を押すと、イメージ設定画面が表示されます。



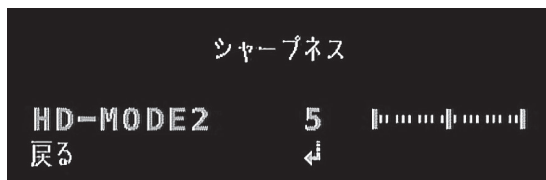
### 彩度

色の鮮やかさを「0」～「20」より設定します。

### シャープネス

輪郭を強調し、シャープに見えるように補正します。

「シャープネス」へ移動して、OSD操作スイッチを押すと、シャープネス設定画面が表示されます。



【HD-MODE2】シャープネスの調整強度を「0」～「10」より設定します。

設定が終わったら、「戻る」へ移動し、OSD操作スイッチを押します。(前の画面へ戻ります)

# カメラ機能のメニュー設定 イメージ つづき

## ガンマ

画像の階調補正の数値を「0.45」、「0.55」、「0.65」、「0.75」より設定します。

## ミラー

映像を左右反転します。

## フリップ

映像を上下反転します。

## ACE

コントラストの数値を「低」、「中」、「高」より設定します。

## 曇り除去

もやや激しい雨などでかすんだ映像を補正して最適な映像に補正する機能です。

「曇り除去」へ移動して、OSD操作スイッチを押すと、曇り除去設定画面が表示されます。



【モード】 曇り除去のモードを「オート」、「マニュアル」より設定します。

【レベル】 モードで「マニュアル」を設定した場合のレベルを「低」、「中」、「高」より設定します。

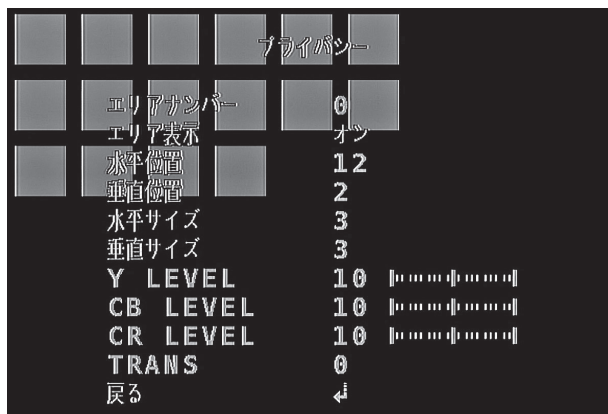
設定が終わったら、「戻る」を選択して前の画面へ戻ります。

# カメラ機能のメニュー設定 イメージ つづき

## プライバシー

プライバシーマスク機能は、指定した範囲をマスクで隠すことによりプライバシーを保護することができます。プライバシーマスクは最大16か所まで設定が可能です。

「プライバシー」へ移動して、OSD操作スイッチの左右操作で「オン」を選択し、OSD操作スイッチを押すと、プライバシー設定画面が表示されます。



【エリアナンバー】 設定するマスクエリアを「0」～「15」より選択します。

【エリア表示】 選択したエリアの表示の「オン」、「オフ」を設定します。

【水平位置】 選択したエリアの水平位置を設定します。

【垂直位置】 選択したエリアの垂直位置を設定します。

【水平サイズ】 選択したエリアの水平サイズ(右側)を設定します。

【垂直サイズ】 選択したエリアの垂直サイズ(下側)を設定します。

【Y LEVEL】 全てのマスクエリアの色の濃度を「0」～「20」より設定します。

【CB LEVEL】 全てのマスクエリアの青色レベルを「0」～「20」より設定します。

【CR LEVEL】 全てのマスクエリアの赤色レベルを「0」～「20」より設定します。

【TRANS】 全てのマスクエリアの透明度を「0」～「3」より設定します。

設定が終わったら、「戻る」へ移動し、OSD操作スイッチを押します。(前の画面へ戻ります)

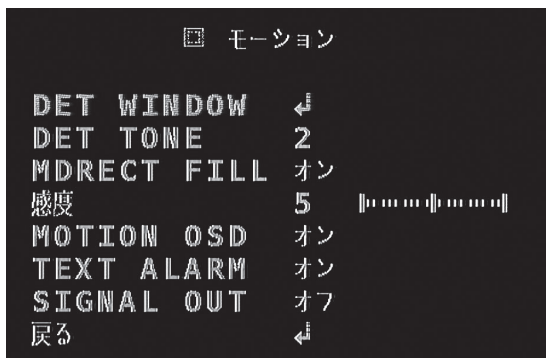
全ての設定が終わったら、「戻る」へ移動し、OSD操作スイッチを押します。(メニュー画面へ戻ります)

# カメラ機能のメニュー設定 モーション

## モーション

モーションメニューでは、撮影画面の中の動きを検出する設定をします。検出エリアは最大4か所まで設定が可能です。

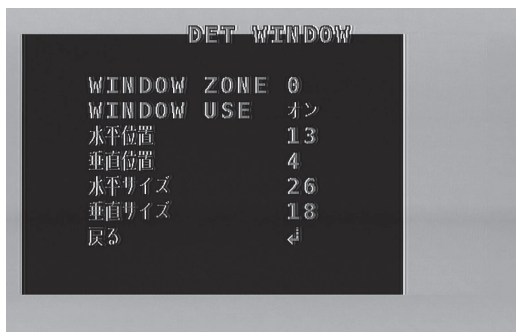
メニュー画面(p.10)で「モーション」へ移動して、OSD操作スイッチ(p.7)の左右操作で「オン」を選択し、OSD操作スイッチを押すと、モーション設定画面が表示されます。



### DET WINDOW

モーション検出エリアの設定をします。

「DET WINDOW」へ移動して、OSD操作スイッチを押すと、DET WINDOW設定画面が表示され、画面に薄い黄色のエリアが表示されます。



【WINDOW ZONE】 設定する範囲を「0」～「3」より選択します。

【WINDOW USE】 WINDOW ZONEの有効/無効を設定します。

【水平位置】 WINDOW ZONEの水平位置を設定します。

【垂直位置】 WINDOW ZONEの垂直位置を設定します。

【水平サイズ】 WINDOW ZONEの水平サイズ(右側)を設定します。

【垂直サイズ】 WINDOW ZONEの垂直サイズ(下側)を設定します。

●WINDOW ZONEのサイズ設定は、左上が基準となります。

設定が終わったら、「戻る」へ移動し、OSD操作スイッチを押します。(前の画面へ戻ります)

# カメラ機能のメニュー設定 モーション つづき

## DET TONE

全てのモーション検出エリアの、検出エリア外の透過度を設定します。

- 「0」: 大
- 「1」: 中
- 「2」: 小
- 「3」: 透明
- 「4」: 枠

## MDRECT FILL

全てのモーション検出エリアで、モーションを検出したときの表示を設定します。

- 「オン」: 赤色表示
- 「オフ」: 枠線表示

## 感度

全てのモーション検出エリアの、検知感度を「0(弱)」～「10(強)」より設定します。

## MOTION OSD

全てのモーション検出エリアの、検出時の表示を「オン」、「オフ」より設定します。

## TEXT ALARM

アラームの表示を「オン」、「オフ」より設定します。

「オン」に設定すると、検知したアラームの内容により、「WINDOW MOTION」、「CAMERA MOVING」、「BRIGHT CHANGE」が表示されます。

## SIGNAL OUT

使用できない機能です。

全ての設定が終わったら、「戻る」へ移動し、OSD操作スイッチを押します。  
(メニュー画面へ戻ります)

# カメラ機能のメニュー設定 システム

## システム

システムメニューでは、言語、カメラタイトル、初期化などの設定をします。  
メニュー画面(p.10)で「システム」へ移動して、OSD操作スイッチ(p.7)を押すと、システム設定画面が表示されます。

↑ システム	
フレームレート	1080 30P
通信	←
IMAGE RANGE	FULL
色空間	HD-CbCr
カラーバー	オフ
言語	JPN
SETUP	←
CAM TITLE	オフ
リセット	オン <sup>Ⓜ</sup>
戻る	←

### フレームレート

本機から出力される解像度です。  
本機では、「1080 30P」(200万画素相当)に設定されています。

### 通信

使用できない機能です。

### IMAGE RANGE

本機では、「FULL」に設定して使用します。

### 色空間

本機では、「HD-CbCr」に設定して使用します。

### カラーバー

「オン」に設定すると、カラーバーが表示されます。

### 言語

メニューの表示言語を設定します。  
日本語、英語、韓国語、中国語に対応しています。



# カメラ機能のメニュー設定 システム つづき

## SETUP

カメラのバージョンを確認します。

「SETUP」へ移動して、OSD操作スイッチを押すと、SETUP設定画面が表示されます。



【CAM VERSION】 カメラのバージョンを表示します。

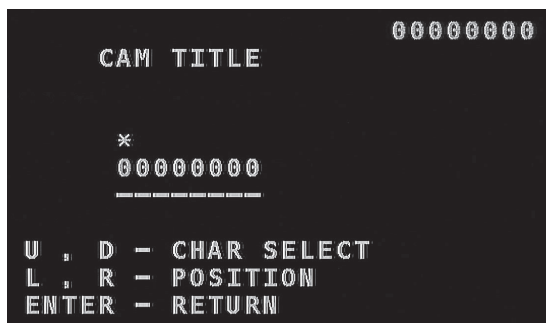
【SAVE RESET】 リセット操作(p.26)をした場合の初期状態を変更します。  
現時点の設定内容が、初期状態となります。  
「SAVE RESET」へ移動して、OSD操作スイッチを長押しします。  
「オン」の表示が、「PUSHING」に変わるまで押してください。  
●初期状態が変わってしまうため、ご注意ください。

設定が終わったら、「戻る」へ移動し、OSD操作スイッチを押します。(前の画面へ戻ります)

## CAM TITLE

画面上にカメラのタイトルを表示することができます。

「CAM TITLE」へ移動して、OSD操作スイッチの左右操作で、「RIGHT UP」(右上表示)、または「LEFT DOWN」(左下表示)を選択し、OSD操作スイッチを押すと、CAM TITLE設定画面が表示されます。



カメラタイトルは、英数字で最大8文字までの入力が可能です。

OSD操作スイッチの左右操作で場所を移動して、上下操作で英数字を設定します。

設定が終わったら、OSD操作スイッチを押して前の画面へ戻ります。

## リセット

メニュー設定を初期状態に戻します。

「リセット」へ移動して、OSD操作スイッチを長押しします。

「オン」の表示が、「PUSHING」に変わるまで押ししてください。

●初期状態は、「SETUP」の「SAVE RESET」(p.25)で変更が可能です。

全ての設定が終わったら、「戻る」へ移動し、OSD操作スイッチを押します。  
(メニュー画面へ戻ります)

## 終了

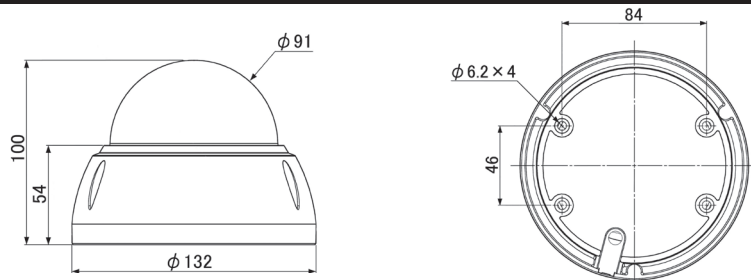
メニュー設定を終了します。

メニュー画面(p.10)で「終了」へ移動して、OSD操作スイッチ(p.7)を押すと、メニュー画面が終了します。

メニュー画面は、終了操作をしないと表示が消えません。  
メニューの設定後は、必ず終了操作を行なってください。

# 寸法図・修理に関して・規格表

## 寸法図



単位：mm

## 修理に関して

不具合の原因が設定の問題や一時的な誤作動で、物理的な異常では無いものがあります。このため、修理を依頼する前には、設定の確認、電源の再投入や設定の初期化(リセット)をお試しください。

## 規格表

**AASPRO**

項目	規格
イメージセンサー	1/2.8インチ カラー CMOS 2.1Megapixel SONY製
有効画素	1920(H)×1080(V)
レンズ	2.8～12mm DCアイリス
水平視野角	約91～28°
逆光補正機能	バックライト補正(BLC) / ハイライト補正(HLC)
ワイドダイナミックレンジ	WDR (低/中/高)
同期方式	内部同期
映像出力・電源入力端子	BNC.J×1
最低被写体照度	0.5Lux (感度アップ32倍時0.01Lux) ●白黒撮影
感度アップ	OFF/ON (2～32倍)
SN比	50dB以上
デイ&ナイト機能	外部/オート/カラー /B&W (ICR)
オートゲインコントロール	0～10
ホワイトバランス	AWB
シャッタースピード	1/30～1/30,000秒
ノイズリダクション機能	2DNR&3DNR (低/中/高)
カメラタイトル表示	最大8文字
プライバシーマスク機能	16か所任意設定
画質調整	明るさ(0～20) / 上下左右反転 / シャープネス(0～10) / 彩度(0～20)
赤外線照射距離	最長約20m (LED24個/850nm) SMART IR
防じん・防水性能	IP66(カメラのみ)
OSD	日本語対応
電源	電源重畳方式(別売電源ユニット使用)
消費電流	最大約340mA
ケーブル長	約0.4m (映像・電源)
質量(重量)	約550g
使用温度範囲	⊖10～⊕40℃

# 保証書

## フルハイビジョンAHDドームカメラ

MODEL **ASM24POC**

お客様ご住所			
TEL.	—	—	
★お客様お名前	様		
★保証期間(販売店記入欄)			
お買上げ日	年	月	日から1年間
★販売店名・住所(販売店記入欄)			
TEL.	—	—	

★印の欄にご記入のない場合、または、販売店の発行した、お買上げ日、販売店名を確認できる証明書(領収書など)のない場合、無効になります。本書は再発行いたしませんから、紛失しないよう大切に保管してください。

### 無料修理規定

- [取扱説明書]などの注意にしがった正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合、お買上げの販売店に本製品と本書をご持参、ご提示のうえ、修理をご依頼ください。無料修理させていただきます。
- 次のような場合、保証期間中でも有料修理になりますから、ご注意ください。
  - ・ 本書のご提示がない場合。
  - ・ 本書に、お客様お名前、お買上げ日、販売店名の記入のない場合、または、販売店の発行した、販売店名を確認できる証明書(領収書など)のない場合。
  - ・ 本書の字句を書換えられた場合。
  - ・ 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧などによる故障および損傷。
  - ・ ご使用上の誤りによる故障および損傷。
- 本書は日本国内に限り有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

本書に明示した期間および条件で、無料修理をお約束します。保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店にお問合わせください。修理によって機能が維持できるときは、お客様のご要望により、有料修理いたします。

**持込修理**

**＝マスプロ電気株式会社＝**

本社 〒470-0194 (本社専用番号) 愛知県日進市浅田町上納80  
営業部 TEL名古屋 (052) 802-2244

**＝マスプロ電気＝**

本社 〒470-0194 愛知県日進市浅田町上納80

技術相談  **0570-091119**

ナビダイヤル®。固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます  
IP電話などナビダイヤルが利用できない電話からは **052-805-3366**  
受付時間 9～12時、13～17時(土・日・祝日、当社休業日を除く)

インターネット [www.maspro.co.jp](http://www.maspro.co.jp)

製品向上のため 仕様・外觀は  
変更することがあります。

